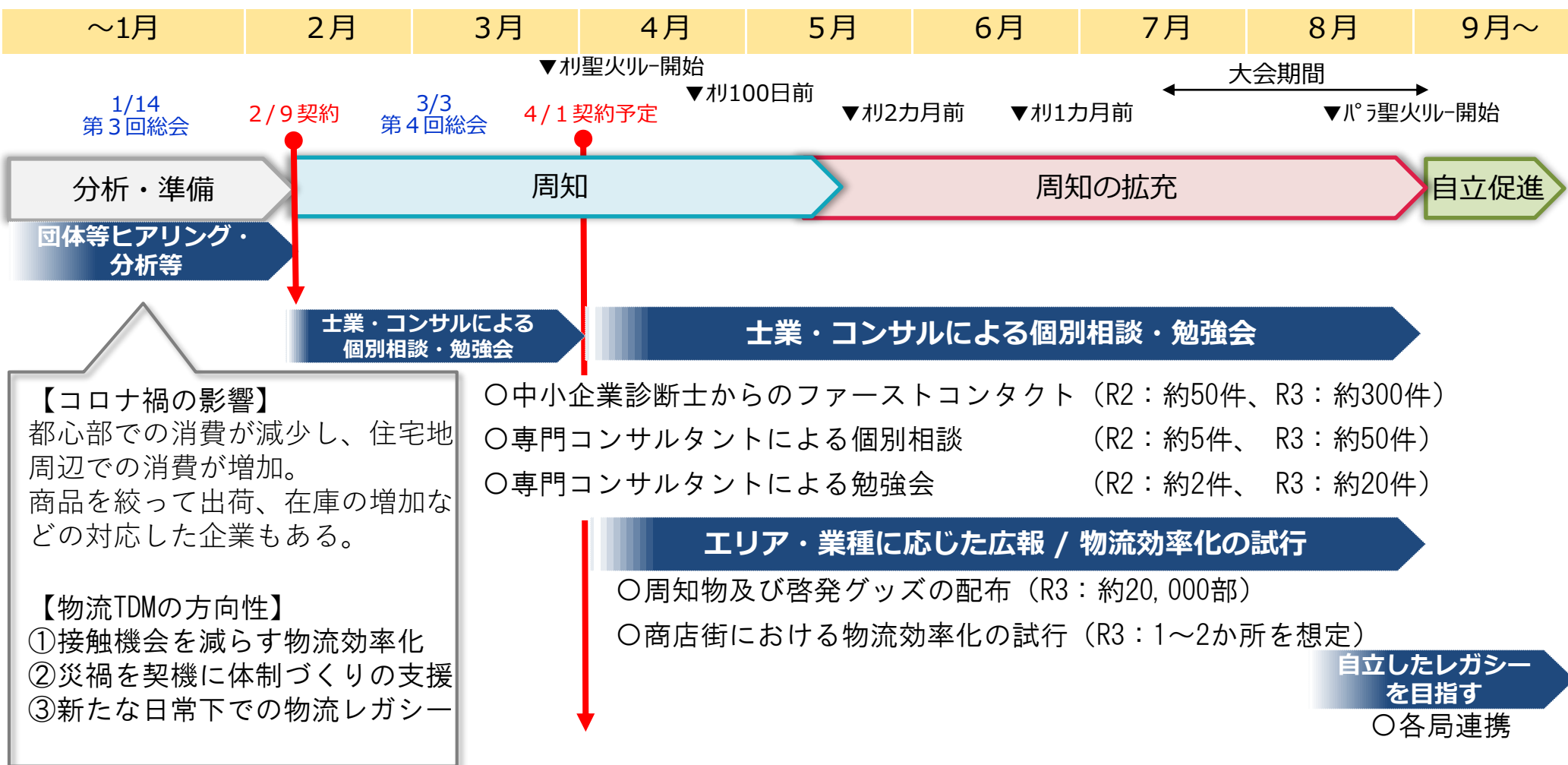


2020物流TDM実行協議会 今後の動きについて

資料3(概要)



【コロナ禍の影響】
 都心部での消費が減少し、住宅地周辺での消費が増加。商品を絞って出荷、在庫の増加などの対応した企業もある。

【物流TDMの方向性】

- ①接触機会を減らす物流効率化
- ②災禍を契機に体制づくりの支援
- ③新たな日常下での物流レガシー

- 中小企業診断士からのファーストコンタクト (R2：約50件、R3：約300件)
- 専門コンサルタントによる個別相談 (R2：約5件、R3：約50件)
- 専門コンサルタントによる勉強会 (R2：約2件、R3：約20件)

エリア・業種に応じた広報 / 物流効率化の試行

- 周知物及び啓発グッズの配布 (R3：約20,000部)
- 商店街における物流効率化の試行 (R3：1~2か所を想定)

自立したレガシーを目指す

- 各局連携